

異能vationプログラムの概要

ICT分野において、破壊的な地球規模の価値創造を生み出すために、大いなる可能性がある奇想天外で野心的な技術課題に挑戦する独創的な人材を支援。閉塞感を打破し、異色多様性を拓く。

公募



◆ 支援対象：
独創的なアイデア
を持つ個人
義務教育修了者

挑戦 (ICT 技術課題に挑戦する個人)

様々な ICT 技術課題

- ◆ 支援額: 300万円(上限) + 間接経費(30%)
- ◆ 支援期間: 1年間
- ◆ 採択件数: 10件程度

ゴール

(野心的な
技術目標)
Ambitious
Technical
Goals

評価

失敗してもゴールへの道筋がたてられ、方向性が明確になった課題は「高評価」

再挑戦
卒業

ゴールへの道筋が明確になる価値ある「失敗」を奨励
→ 繰返し応募可能

ICT分野で世界的に活躍するスーパーバイザー(9名) 挑戦者の選考・研究の助言・評価等



伊藤 穰一
MITメディア
ラボ所長



上田 学
WEBエンジニア
GoogleMAP
を多言語化



川西 哲也
NICT光通信基盤
研究室長



高橋 智隆
ロボ・ガレージ
代表取締役社長



西川 徹
Preferred
Networks
CEO



原田 博司
京都大学
情報学研究所
教授



外村 仁
エバーノート
ジャパン
会長



牧野 友衛
Twitter Japan
執行役員



まつもと
ゆきひろ
Ruby Assoc.
理事長

業務実施機関(角川アスキー総研)

総務省

プログラム評価委員会

業務実施機関の評価、採択案件やスーパーバイザーの承認